

エリア放送型の運用形態及び共用のための提案(TBSその1)

【運用形態：イベント連動型エリアフルセグ放送】

TBS(本間)

代表的な利用シーン	イベント会場	交通機関(空港など)
利用場所	屋外及び屋内 (サカス広場とTBS玄関内)	—
利用期間	数日～最大1ヶ月半 (上記期間で年間4回程度)	—
1日のうちの利用時間	イベント開催時間帯のみ (最大午前10時から午後9時)	—
使用周波数の変更	できれば同じ周波数	—

【ホワイトスペース利用システム相互間で共用するための方策:第3者機関を想定】

イベント連動型エリアフルセグ放送の共用方策の流れ

- (申請者)運用する日時、送信場所、送信出力、エリア図、希望チャンネル等を申請。
- (第3者機関)送信場所に対応するチャンネルスペースマップから候補チャンネル抽出。
- (第3者機関)告示640号に基づき、候補チャンネルが地デジに混信しないことを確認。
- (第3者機関)申請者へ短期運用チャンネルとして送信諸元を返信。
- (申請者)返信内容に基づき免許申請を行い、免許後エリア放送を実施。
- (第3者機関)申請者Aのエリア放送を運用管理データベースに登録
- (申請者)エリア放送の運用期間終了後免許の返納

(注)第3者期間は、地デジとの混信調査とエリア放送等の運用管理を行う機関とする。₁

エリア放送型の運用形態及び共用のための提案(TBSその2)

【運用形態:災害支援型エリア放送】

TBS(本間)

代表的な利用シーン	イベント会場	交通機関(空港など)
利用場所	屋外と屋内 (南相馬市原町地区と鹿島区)	—
利用期間	1年間(2011年7月～2012年7月) その後の延長の可能性あり	—
1日のうちの利用時間	24時間放送 (放射線量データ毎日更新等)	—
使用周波数の変更	連続放送のため同じ周波数	—

【ホワイトスペース利用システム相互間で共用するための方策:第3者機関を想定】

災害支援型エリア放送の共用方策の流れ

- (申請者)運用期間、送信場所(2ヶ所)、送信出力、エリア図、希望チャンネル等を申請。
- (第3者機関)送信場所に対応するチャンネルスペースマップから候補チャンネル抽出。
- (第3者機関)告示640号に基づき、候補チャンネルが地デジに混信しないことを確認。
- (第3者機関)申請者へ長期運用チャンネルとして送信諸元を返信。
- (申請者)返信内容に基づき免許申請を行い、免許後エリア放送を24時間実施。
- (第3者機関)申請者のエリア放送を運用管理データベースに登録
- (申請者)エリア放送の運用期間終了後免許の返納

(注)第3者期間は、地デジとの混信調査とエリア放送等の運用管理を行う機関とする。₂

(補足図)共用するための方策案:無線局開局の前後(第3者機関の機能)

TBS(本間)

